



平成30年2月13日

各 位

会 社 名 沢井製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 澤井 光郎
(コード番号 4555 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員戦略企画部長
澤井 健造
(TEL. 06-6105-5823)

米国連邦法人税の税率引き下げに伴う税金費用の発生等による通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、米国における税制改革法の成立に伴い、米国連邦法人税率が引き下がること等により、繰延税金資産の取り崩しが発生すると見込まれることから、以下のとおり、平成29年11月13日の平成30年3月期第2四半期決算発表時に開示した平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）（単位：百万円）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 親会社の所有者に 帰属する当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	168,800	30,500	23,700	23,300	17,300	464.39
今回修正予想 (B)	168,800	30,500	23,700	23,300	12,800	343.59
増減額 (B-A)	—	—	—	—	△4,500	—
増減率 (%)	—	—	—	—	△26.0%	—

(注) 当社は、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を向上させることを目的として、平成29年度の通期業績から、国際財務報告基準（IFRS）を適用することとしております。

2. 修正の理由

平成29年12月22日に米国において、連邦法人税率を35%から21%に引き下げることなどを柱とする税制改革法が成立したこと等により、当社の米国子会社において繰延税金資産を取り崩す必要が生じました。これに伴い、当社連結業績において法人税等調整額が一時的に増加することが見込まれるため、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を修正いたします。

以 上